

浜松医科大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

手術医療は手術ロボットの導入や特殊器械の増加など高度化・専門化しています。さらに手術室外で行われる消化器内視鏡や循環器の観血的治療中の鎮静にも活躍の場は広がり気道管理を行う麻酔科専門医はますます必要とされています。近年麻酔法も神経ブロック等様々な変革があり、20年前とすっかり違う様相を呈しています。その中で浜松医大附属病院の麻酔科は、①手術室内外での麻酔・全身管理および術後疼痛管理、②集中治療室（ICU）での重症患者管理、③ペインクリニックと④無痛分娩の“四本柱”で構成されています。



①は、大学附属病院特有の高度な手術や、重症患者に対応した麻酔および鎮静に対する全身管理、②では、大手術後や救急外来経由の重症患者、さらには病棟で急変した重症患者を収容し、全身管理を行っています。③は帯状疱疹後神経痛、神経障害性疼痛、術後疼痛症候群などの難治性疼痛患者を中心に治療しています。

また特徴的なこととして、国立大学病院としては当時ほとんど行われていなかった硬膜外ブロックを使用した④“無痛分娩”にも2005年から積極的に取り組んでおり、硬膜外カテーテルの留置から分娩まで麻酔科専門医がほぼ専属で疼痛管理にあたっています。

当プログラムでは静岡県内外の多くの特色のある病院と連携し、充実した研修を行う事ができます。ぜひ、我々の研修プログラムに参加し、各々の個性、特色を活かして日本麻酔科学会認定専門医取得に向けた研修を行っていただけることを期待しております。

プログラム統括責任者 浜松医科大学医学部麻酔・蘇生学講座教授 中島 芳樹

2 目的

日本麻酔科学会認定専門医の取得を目指すとともに、研修環境が充実した県内の基幹病院・浜松医科大学関連病院等の複数の病院を経験することで、周術期管理、侵襲制御、疼痛管理等における優れた知識と技術、そしてコミュニケーション能力を有し、チーム医療を中心的に担える質の高い専門医の養成を目指す。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門研修連携施設

伊東市民病院、静岡医療センター、静岡県立静岡がんセンター、静岡県立こども病院、静岡県立総合病院、静岡市立清水病院、静岡赤十字病院、島田市立総合医療センター、焼津市立総合病院、藤枝市立総合病院、中東遠総合医療センター、磐田市立総合病院、

菊川市立総合病院、浜松労災病院、浜松医療センター、遠州病院、浜松赤十字病院、
聖隷三方原病院、豊田厚生病院

4 専攻医受入数

15名

5 研修期間

4年間

6 研修計画（例）

研修期間中に手術麻酔、集中治療、ペインクリニックの十分な臨床経験を積む。通常の全身麻酔・硬膜外麻酔・脊髄くも膜下麻酔・神経ブロックの症例経験に加え、日本麻酔科学会認定専門医取得に必要な下記の所定の件数の特殊麻酔を担当医として経験する。

- ・小児（6歳未満）の麻酔 25症例
- ・帝王切開術の麻酔 10症例
- ・心臓血管外科の麻酔 25症例
（胸部大動脈手術を含む）
- ・胸部外科手術の麻酔 25症例
- ・脳神経外科手術の麻酔 25症例

専門医に必要な知識／技術が得られるよう、すべての麻酔科領域を満遍なく回るローテーション勤務を基本とする。ローテーションする病院の順番や指向については、専攻医のキャリアプランに合わせ、相談の上決定する。日本麻酔科学会および日本専門医機構の専門医認定試験に合わせた講習会を毎年行っている。

詳しい研修計画・研修内容に関しては浜松医大麻酔科HPをご覧ください

<http://www.anesth.hama-med.ac.jp/AneDepartment/rinsyoukensyu.html>

7 問い合わせ先

詳細は浜松医科大麻酔科 HP からお問い合わせください。<http://www.anesth.hama-med.ac.jp/Anedepartment/index.asp>